



江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより
令和 2年 12月 23日 発行
通算 第 515号

教育目標 強い子になろう



季節の縁起物の所以(ゆえん)

校長 花生 典幸

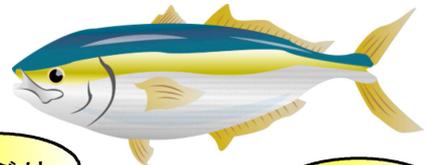
学校が再開してから8ヵ月が経過し、明日からいよいよ冬休みに入ります。

5月、6月は主に休校により生じた授業の遅れを取り戻すことに力を注ぎました。それと並行しながら、多くの学校行事の変更に臨機応変に対応したり、マスク着用・手指の消毒の習慣化といった「新しい生活様式」に少しずつ慣れたりといった努力をこつこつと重ねてきました。子どもたちは不平を言わずに、今日まで本当によくがんばってきたと思います。保護者のみなさまもご心配が絶えなかつただろうと思いますが、さまざまな場面で学校を支えてくださり、励ましの声を寄せてくださいました。ご協力とご支援にあたたためて感謝申し上げます。

冬休みは、子どもたちにとって自由な時間が多くなります。**自由を上手に使える子は、将来伸びる子だともいわれます。**楽しむ時はおおいに楽しみ、やる時は切り替えてしっかりやるというふうメリハリをつけ、生活のリズムを崩したり、生活習慣が乱れたりしないように注意しながら、充実した毎日を送ってほしいと思います。

冬休みが終わって出校する際には、【**新しい1年の目標・めあて**】ができたよ、と胸を張っていえる子がたくさん見られたなら、すばらしいと思います。励ましてあげてください。

どうぞよいお年をお迎えください。



鰯 ぶり

鮭 さけ



おめでたいお魚と言えば、「鯛(たい)」がすぐに思い浮かびますが、冬に関して言うと、おめでたい魚の代表は、「鰯(ぶり)」と「鮭(さけ)」だそうです。

鰯(ぶり)は、イナダ → ワラサ → ブリというふう成長に応じて名前が変わることから出世魚と呼ばれています。そのため、新年を迎える際に食べるものとして昔から重宝され、現在でもお正月に必ず食べる地方があるそうです。

一方「鮭(さけ)」は、生まれ育った川をさかのぼって産卵して生涯を終えるという生態から、古来より神秘的な魚として珍重されてきました。卵をたくさん産むので、子室にも恵まれるともされています。

「鰯(ぶり)」も「鮭(さけ)」も、わたしたちの生活の中で、**季節を彩る縁起物として大事な役割を担ってきた**わけですが、それぞれの由来や所以(ゆえん)について調べてみると、なるほどなあとあたためて納得させられることがたくさんあります。

この時期、実は“由来・所以”にまつわるたくさんの言葉があります。

【大晦日(おおみそか/寝ないで歳神様が下りてくるのを待つ日)】【年越しそば】【除夜の鐘】【注連飾り(しめかざり)】【初詣(はつもうで)】【初夢】……冬休み、お子さんと一緒に話題にしてみても、おもしろいのもかもしれませんね。